



躍動する「令和」の幕開け ぶれない芯と舞鶴愛

初夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は鴨田あまつ後援会並びに鴨田あまつに対しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和の時代を迎え、皆様はいかがお過ごしでしょうか。季節は7月に突入し、いよいよ暑い夏が到来するといったところですが、今年は春を実感できる期間が短ったように感じます。

梅雨も年々感じられなくなっています。日本人にとって梅雨の花と言えば「紫陽花」が思い浮かびます。実は紫陽花の原産国は日本であり、中国やヨーロッパに渡り、積極的な改良がなされて、多様な改良品種が誕生しました。そして今では誰からも愛される花として日本人の定番となっています。

害虫にも強く、少々の気候変動にも負けず大きく育つ。ぶれない芯を感じとることができます。

さて、来年には東京2020五輪が開催され、舞鶴市はウズベキスタン共和国のレスリング・柔道競技のホストタウンです。聖火リレーが舞鶴を通ることも公式決定しました。さらに大河ドラマ「麒麟が来る」の放映も決定しており、主人公の明智光秀の盟友であった細川藤孝(後の幽斎)は舞鶴とゆかりが深い武将であり、先日キャストも発表されました。そういったことから、舞鶴市は全国的にピックアップされるでしょう。しかしながら、一過性のお祭りに終始することなく、舞鶴市としてぶれない芯を持つことが大切であり、まちづくりの根底には、常に舞鶴愛とプライドを持って取り組んでいきたいと考えております。

鴨田 秋津

6月定例会の一般質問はごみ問題!

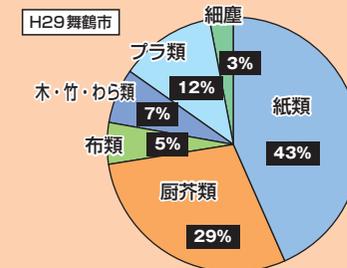
4月からスタートしている不燃ごみ7種9分別収集をはじめとする、舞鶴市を取り巻くごみ全般について質問をしました。ごみの立ち番制度の見直しや、不燃ごみの収集頻度の見直し、食品ロスへの啓発や紙ごみの削減対策など、多岐に渡り質問しています。

- (1) IoT技術を活用した収集管理システム導入可能性調査の実施結果について
- (2) 不燃ごみ7種9分別収集について
- (3) 可燃ごみの課題について

6月一般質問の動画は
YouTubeで
いつでも閲覧できます



市役所など公共施設9カ所に
ごみ回収ボックスが設置して
おります。



食、へ残しや、野菜くすなどの厨芥類は、可燃ごみの割合の多くを占めています。

委員会視察報告

5月14日～16日までの間、所属する市民文教委員会で調査視察に行っていました。初日の東京都町田市では、「町田市の英語教育」と「放課後こども教室」について、2日目は東京都立川市にて「食品ロス削減に向けた取り組み」について、最終日は岐阜県に移り、恵那市で「地域自治体制度」についての視察。特に立川市の食品ロス削減については個人飲食店や大手企業といった民間との共同事業が印象的でした。調査視察の目的は、得たものをいかに舞鶴市に生かすかであり、今回の視察は大いに参考となるものでした。



